

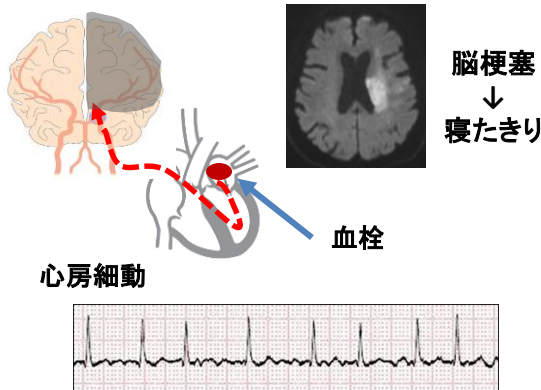
No.4

寝たきりを20%減らすAI心房細動検診

1.0 億円程度
(事業期間3年間)

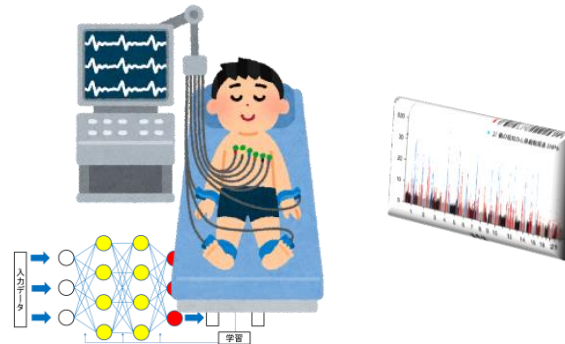
寝たきりの20%は、心房細動に関連した心原性脳梗塞により生じる。心房細動の初期は診断困難だが、AI心電図と遺伝子解析を統合して有病予測を行い、ウェアラブル機器によるAIモニタリングにより心房細動を診断して先制医療を行う。

寝たきりの20%は
心房細動により生じる



心房細動の初期は診断困難で
見逃されている

AI心房細動検診
による有病予測



AI心電図 遺伝子解析

ウェアラブル機器
による早期発見



〇AI心房細動検診により、心房細動と寝たきりへの先制医療を行う

- ・ 寝たきりの20%は心房細動に関連した心原性脳梗塞により生じる。心房細動はその初期には発作性であり診断が困難だが、通常的心電図検査に心房細動を予測するAI解析を導入し、遺伝子解析と統合して心房細動の発症可能性を推定する。
- ・ AI心房細動検診により心房細動や脳梗塞のリスクが高いと判定された方には、ウェアラブル機器を貸し出してモニタリングを行う。AI自動判定を導入して無症状の発作性心房細動を発見・診断し、先制医療を行って脳梗塞と寝たきりを防ぐ。

事業実施による効果

〇心房細動の早期発見・先制医療により寝たきりの大きな要因となる心原性脳塞栓を予防し、健康寿命の増進、医療費・介護費の削減、介護者の負担軽減を目指す